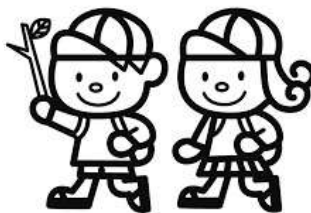


大智寺初代住職 開山様の法要



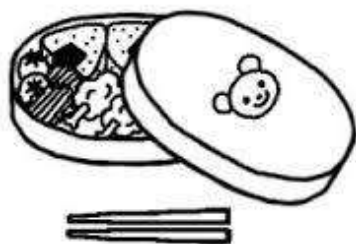
開山忌

10月30日



秋冷 日に日に加わるこの頃、
何を食べてもおいしい季節を迎えています。
先月は特別雨の日が多く、洗濯も思うように干せませんでした。
そろそろ晴れ渡った秋空を拝みたいものです。
体調崩れやすい時期ですが、皆様お変わりありませんか？

さて、今月末には開山忌があります。
大智寺は、西暦1500年(明応9年)
ここ北野一帯を治めていた北野城の城主、
鷲見美作守保重公(すみ みまさかのかみ やすしげ)の
菩提を弔うために創建されました。
その際、岐阜の瑞龍寺からこの地へお招きしたのが、
玉浦宗珉禅師(ぎょくほそうみん)でした。
毎年10月30日は、開山様のご慈悲に感謝する法要
「開山忌(かいさん忌)」を営みます。



大智寺で最も大切なこの法要では、和尚様方が
「行道(ぎょうどう)」を行います。
行道とは、仏会で仏を念じて経文を唱えながら
本尊や堂塔の周囲を回る礼拝形式で、
全国的には東大寺二月堂の修二会の六時行道や
約100名の和尚様による延暦寺大行道が
良く知られています。

この行道の由来は、
右手を浄、左手を不浄とするインドの礼法で、
尊崇の念を表す対象(人・聖火)に対して最高の敬意を払うため
自分の右肩が常にその人に面しているように右回り(時計回り)する礼が
もともになっているといわれています。

お釈迦様もお悟りを開かれる際
一本のピッパラー樹(菩提樹)を見つけ
その木に敬意を表し三度右回りに行道した後
樹下にて坐を組み、禅定を始められました。

この作法が民間の習俗として変容し、
「常の逆」を基調とする葬儀では
その昔、出棺時に棺を
右回りではなく逆回り(左回り)
に3回まわしていました。



10月30日には近隣の和尚様方20名近くを
お招きし、最高の敬意を表す「行道」をおこない
大いなる慈蔭に報いていく心を
開山様にお伝えします。
総代様、世話役の方々、台所お手伝いの方々には
お忙しい中、御足労いただきます。
どうぞよろしくお願い致します。

大智寺だより

平成28年神無月
Vol.78

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

9月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

お彼岸のお参り
ありがとうございました

今年のお彼岸は、台風の影響で長雨が続き、
例年のようなさわやかさはありませんでした。
そんな中、9月21日には里4号の方々がお集まりになり
弘法堂のお参りをしてくださいました。

お掃除していただいた上できれいなお花をお供えくださり、気持ちよくお経をお唱えできました。



また、9月23日には観音様のお参りがありました。
お天気が心配される中、皆様のご尽力で観音堂もきれいに
掃除され、心静かにお彼岸のお参りをすることができました。
帰りには手作りの栗おこわと渋皮煮をお供えにいただきました。

ありがとうございました。

また来年もどうぞよろしくお願いいたします。

～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
(実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋)



お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc
わからないこと 質問帳 ⑳



「数珠っていろいろあるけど、どれがいいの？」

お釈迦様が霊鷲山におられた時、ナンダ国の国王がお釈迦様に尋ねます。
「兵乱などで治世に追われ、仏法を聴聞したいと常々思っているものの果たせません。
こんな私でもなんとか修行できる方法はありませんか」

これに対しお釈迦様が、

「もし煩惱強欲を滅したければ、モクケンシの実を108 繋いで仏の名を念ずればよい」
とお教えになったのが、お数珠の起源です。

モクケンシの実とは、羽子板の羽根の球に用いられるムクロジの実のこと。

数珠は、仏さまと心を通い合わせる大切な法具であると同時に
お経や念仏を唱える時に、その数を数えるためにも使われます。

「嫁ぐ娘に 忘れず持たす 数珠ひとつ」

仏前結婚式には指輪ではなく数珠を交換しますが、
それに限らず人生の節目にお祝いの贈り物として重宝されています。



数珠は、一連、二連と数えます。

数珠と言っても形がいろいろあり、迷いますが
臨済宗では略式の片手数珠か、臨済宗の正式念珠である「看経」、
または宗派共通の二輪数珠「振分」を使います。
一般的には片手数珠を持たれる方がほとんどですが、
女性の場合は振分念珠を使われる方も多いです。

正式念珠の「看経」を用いる場合には、
金属の輪が入っていないものを選びます。

金属の輪が入ったタイプは曹洞宗の念珠になりますので、注意が必要です。
お数珠は乱雑に扱うことは避け、机の上でも数珠袋の上に置き
大切に扱います。

できれば貸し借りも好ましくありません。

～ 日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

「^{ともな} 伴^ゆ 行^{ことさら}く事更になし ^{かいろ} 偕老比翼^{ひよく}の契^{かた}いも」

「天にあっては比翼の鳥となり、地にあっては連理の枝とならん」

これは、中国唐代の詩人白居易（白樂天）の長編叙事詩「長恨歌」の中の有名な場面、安祿山の乱が起き都落ちすることになった玄宗皇帝が、最愛の楊貴妃に語るシーンの一節です。

比翼とは、雌雄それぞれ目と翼が一つずつで、常に一体となって飛ぶという想像上の鳥を指しました。仲睦まじく共に暮らして老い、死後は同じ墓穴に葬られることを「偕老同穴」ということから「偕老比翼の契い」とは、おしどり夫婦を意味します。



来月11月22日は「いい夫婦の日」

一緒に笑い、夢を語らい、
辛く苦しい時も励まし合ってきた、最高の相棒。
その二人三脚がある日突然止まり、独りになります。



独り来たり独り去りて、一も随^{いつ}う者無^{した}し（無量寿經）
独りの世界からこの世へ来て 再び独りの世界へ帰ることを思えば
この世でできることは「独りではないこと」を楽しむことではないでしょうか。
短い時間しかありません。ケンカなどしている暇はないのです（笑）

今が旬

秋も深まり、トンボがすくそばまで寄ってきてくれるようになりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

青い空を飛び、おてんと様を見、夕焼雲を飛びこえて、水色めがね、ぴかぴかめがね、赤色めがねと、めがねが変わっていく童謡「トンボのめがね」を口ずさむと、ついお塔婆を連想します。

大智寺ではお塔婆のご戒名の上に大円鏡智（だいえんぎょうち）と書くことがあります。が、これは丸い鏡のような心を表します。鏡の一番大事な役割は、鏡の前にきた物をありのままに写す、ということなんです。笑った顔が来れば鏡も笑い、悲しい顔が来れば鏡も悲しい顔を写します。私たちの心の持ち方もそれと同じようであればならない、という戒めがこの言葉の中には含まれています。

「今、この瞬間」を素直に写しながら大空を飛びトンボを眺めていると、自分だけ昨日の空も一年前の空も写したまま飛んでいるヘンテコめがねのような気分になります。

人の悟りをつる 水に月の宿るが如し
月ぬれず、水やぶれず （正法眼蔵）

心の水が澄んでいれば、月がその澄んだ鏡のような水面に映るそうですが、過去の記憶やこだわりが水面に波を立て、水を濁らせ、風流なお月見はまだまだお預けの秋です（笑）

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

今が旬 とろとろあったか レンコンスープ

- ① レンコン70gを皮をむき、10分程水にさらしてからすりおろす。
- ② 中華スープ400cc、醤油小さじ半分、こしょう少々、レンコンを全部合わせてお鍋に入れて、中火にかける。
- ③ とろっとしてきたら、味を調べてできあがり。



だんだん根菜類がおいしくなる季節。レンコンは輪切りのきんぴら炒めにしたり、味を含めて煮物にしたり、すりおろしてお団子状にして揚げたり、バリエーション豊富な食材。シャキシャキ、もちり、とろとろ、触感も楽しめるので、お買い物に行くとつい手が出てしまいます。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

10月23日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

9月写経会 備忘録

彼岸花も盛り、お彼岸最終日の写経会となりました。今回は落語「芋俵」をご一緒に楽しみつつ、仏心について考えてみました。泥棒が入った芋俵は、まんまと屋敷に入り込みますが、丁稚にくすぐられておならをしてしまいます。まさに臨濟録「赤肉団上に一無位の真人あり」そのままを落語にしたようなお話でした。



大智寺の本尊様に見守られつつ、
故人の新たな一步を本堂からお見送りする
そんな一般葬を希望される方々へ



本堂を会場に営む 一般葬
あれこれ

9 出棺

葬儀が終わり、お花を棺に入れてふたをしたらとうとう出棺です。

出棺は本堂正面扉からとなります。

故人のお位牌を持った喪主様を先頭に、棺を霊柩車までお見送りします。

霊柩車は東の庫裏脇、もしくは山門前にて待機していただきます。

担ぎ手が多ければ山門前まで運べますが、雨の場合や男性が少ない場合は庫裏脇をお勧めします。

出棺後、お寺にお留守番を置いていただく必要はありません。

本堂では葬儀社の方や花屋さん、果物屋さんなどが

大急ぎで片付けをし、お掃除をします。

貴重品以外の大きなお荷物はそのまま置いて行かれて差し支えありません

引き続き初七日法要をお寺でなさる場合は、その準備をしますので

なるべくお荷物は一カ所にまとめてください。

また、初七日法要後の精進落としも

お寺を会場に召し上がっていただくことができます。



ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。

必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円～
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。

詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。